

『美術館って、おもしろい!』

モロヴィア美術館／編

阿部 賢一、須藤 輝彦／訳



河出書房新社 706 円



実はとってもおもしろい場所、美術館。どうやって作品を守っているの?など美術館に関する疑問はこれで解決!これを読んでみんなも美術館に行こう!

『あーっとかたづけ』

田中 達也／作 福音館書店



さあきょうもあとかたづけをはじめよう。わっせわっせと、すなやこいしをはこんでおかたづけ。あーっというまに、かいすいよく!

みんなのみちかにあるものが、あとかたづけでちがうものにへんしんします。



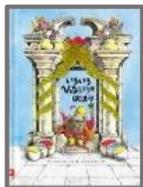
『いろいろへんないろのはじまり』

アーノルド・ローベル／作

まきた まつこ／やく 富山房



ずっとむかし、まだ”いろ”がなかったはいいろのとき。まほうつかいは、これをちよっぴりあれをちよっぴりかきまぜて”いろ”のなかのあおいろをつくりました。ちよっとおかしくて、たのしいいろのはじまりのおはなしです。



『ぼくの色、見つけた!』

志津 栄子／作 末山 りん／絵

講談社 913 円

信太朗は、色覚障がいで赤色と他の色の見分けがつかえません。ある日、授業で描いた自分の似顔絵の口元をまちがえて茶色で塗ってしまいました。それをからかわれた信太朗は、ずっとそのことを忘れられずにいました。



いろいろアートをたのしもう!

『百まいのドレス』

エレナー・エステス／作 石井 桃子／訳

ルイス・スロボドキン／絵 岩波書店 933 円

いつもからかわれていたワンダが学校に来なくなりました。ひっこしをしたのです。ワンダがのこしていったものに、百まいのドレスがありました。すべてがみごとなできのドレスたちは、ワンダがかいた絵のドレスでした。



『いろいろのいろいろ絵本』

五味 太郎／作 復刊ドットコム



きいろってなんのいろかな? たまごのいろ? ばなのいろ?ほかにもさがしてみると、いっぱいみつかるかな。おうちのなかや、まちなかでもさがしてみよう。ほかのいろのほんもあるよ。

『まほうのえのぐ』

林 明子／さく 福音館書店



よしみは、おにいちゃんがもっているえのぐをつかいたくてたまりません。ある日、おにいちゃんがかしてくれたえのぐでえをかいてみました。できたのはどろんこのえ。うまくいきません。そこへ、へびがやってきてあかいてのぐをもってもりのなかにはいって行ってしまいました。



『完全版 こっきのえほん』

戸田 やすし／企画・編集・制作

戸田デザイン研究室 288 円



こっきは、デザインやつかわれているいろが国によってちがいます。日本のように、シンプルなものや、はたまたかくのがとってもむずかしそうなこっきまで!大切にされているデザインや、あざやかな色をたのしもう!

